

広島県後期高齢者医療広域連合の財政状況の公表

～ 令和2年5月 ～

この「財政状況の公表」は、後期高齢者医療制度の運営にお金がどのように使われているのかといった広域連合の財政状況を皆さんに知っていただくため、毎年度、5月に下半期分（前年10月1日から3月31日まで）の財政状況と当年度の当初予算を、11月に上半期分（4月1日から9月30日まで）の財政状況と前年度の決算状況を「広島県後期高齢者医療広域連合の財政状況の作成及び公表に関する条例」に基づき公表するものです。

今回は、令和元年度下半期（令和元年10月1日から令和2年3月31日まで）の予算の執行や財産の状況と令和2年度の当初予算について公表します。

また、最後に、主要な予算科目の内容について簡単に説明していますので参考にしてください。

財政の動向及び財政方針

国においては、「経済財政運営と改革の基本方針2019」で示された「新経済・財政再生計画」の枠組みの下、社会保障分野における様々な改革の取組が行われています。

このような中、当広域連合では、令和元年度は、レセプト点検をはじめ、後発医薬品差額通知や重複・頻回受診指導を実施するとともに、健康診査や歯科健康診査などの保健事業等を市町と一体となって取り組み、安定的な制度運営に努めました。

令和2年度は、新しい保険料率の初年度に当たるため、これを算定する際に用いた被保険者数や医療給付費等を基に予算編成を行いました。被保険者数は引き続き増加傾向であることから、令和2年度特別会計当初予算額は、令和元年度当初予算額に比べ、1.4%の増となりました。また、制度運営に必要な事務費についても、派遣職員給料等負担金の増加等により、令和2年度一般会計当初予算額は、令和元年度当初予算額に比べ、3.3%の増となりました。

当広域連合としては、引き続き歳入歳出両面について改善に取り組むとともに、今後も国の動向を注視しつつ、全国の広域連合など関係団体と更なる連携を図り、広島県及び広域連合を構成する県内市町の協力を得ながら、被保険者が安心して医療が受けられるように、健全な財政運営に努めます。

令和元年度下半期財政状況

～予算執行の状況と資産等の概要～

以下で説明する財政状況は、令和2年3月31日現在で記載しています。

1 令和元年度下半期の補正予算の概要

下半期の補正予算は、次のとおりです。

(1) 一般会計

第1号補正（10月）

（歳入）

- ・ 後期高齢者医療制度事業費補助金を増額（32万4千円）
- ・ 調整交付金を増額（9万6千円）
- ・ 平成30年度決算に伴い繰越金を増額（6,509万8千円）

（歳出）

- ・ 時間外勤務手当を増額（700万円）
- ・ 普通旅費を増額（42万円）
- ・ 財政調整基金積立金を増額（5,809万8千円）

第2号補正（2月）

（歳入）

- ・ 財政調整基金の利子収入を増額（6千円）

（歳出）

- ・ 財政調整基金利子積立金を増額（6千円）

(2) 後期高齢者医療特別会計

第1号補正（10月）

（歳入）

- ・ 平成30年度の精算等に伴い市町負担金を増額（7億6,090万5千円）
- ・ 平成30年度の精算等に伴い調整交付金を増額（1万9千円）
- ・ 後期高齢者交付金の精算額充当に伴う減額（△19億3,419万9千円）
- ・ 給付準備基金繰入金を増額（6億1,701万円）
- ・ 平成30年度決算に伴い繰越金を増額（63億1,529万8千円）
- ・ 平成30年度の精算等に伴い延滞金を増額（30万円）
- ・ 平成30年度の精算等に伴い雑入を増額（2,571万円）

（歳出）

- ・ 平成30年度の精算等に伴い市町支出金返還金を増額（9,996万7千円）
- ・ 平成30年度の精算等に伴い国庫支出金返還金を増額（53億6,031万円）
- ・ 平成30年度の精算等に伴い県支出金返還金を増額（3億2,469万円）
- ・ 平成30年度の精算等に伴い保険料還付金等を増額（7万6千円）

第2号補正（2月）

（歳入）

- ・ 調整交付金を減額（△114万円）
- ・ 後期高齢者医療制度事業費補助金を増額（724万6千円）
- ・ 後期高齢者医療災害臨時特例補助金を増額（35万6千円）
- ・ 給付準備基金利子収入を増額（34万5千円）
- ・ 給付準備基金繰入金を減額（△427万4千円）
- ・ 返納金を増額（1,108万円）

（歳出）

- ・ 後期高齢者健診事業補助金を増額（983万円）
- ・ 後発医薬品利用差額通知業務委託料の減額（△41万8千円）
- ・ 給付準備基金利子積立金を増額（34万5千円）
- ・ 調整交付金返還金を増額（6万7千円）
- ・ 保険料還付金を増額（378万9千円）

● 下半期の一般会計補正予算の状況

(歳入)

(単位：千円)

区 分	当初予算	9月末現在 予算現額	第1号補正 (10月)	第2号補正 (2月)	3月末日現在 予算現額
分担金及び負担金	1,246,145	1,246,145			1,246,145
国庫支出金	2	2	420		422
財産収入	21	21		6	27
繰入金	1	1			1
繰越金	1	1	65,098		65,099
諸収入	35	35			35
合 計	1,246,205	1,246,205	65,518	6	1,311,729

(歳出)

(単位：千円)

区 分	当初予算	9月末現在 予算現額	第1号補正 (10月)	第2号補正 (2月)	3月末日現在 予算現額
議会費	2,675	2,675			2,675
総務費	307,532	307,532	65,518	6	373,056
民生費	930,835	930,835			930,835
公債費	163	163			163
予備費	5,000	5,000			5,000
合 計	1,246,205	1,246,205	65,518	6	1,311,729

● 下半期の後期高齢者医療特別会計補正予算の状況

(歳入)

(単位：千円)

区 分	当初予算	9月末現在 予算現額	第1号補正 (10月)	第2号補正 (2月)	3月末現在 予算現額
市町支出金	70,226,883	70,226,883	760,905		70,987,788
国庫支出金	135,853,092	135,853,092	19	6,462	135,859,573
県支出金	34,079,201	34,079,201			34,079,201
支払基金交付金	171,051,584	171,051,584	△1,934,199		169,117,385
特別高額医療費 共同事業交付金	73,570	73,570			73,570
財産収入	697	697		345	1,042
繰入金	4,380,892	4,380,892	617,010	△4,274	4,993,628
繰越金	1	1	6,315,298		6,315,299
県財政安定化 基金借入金	1	1			1
諸収入	473,118	473,118	26,010	11,080	510,208
合 計	416,139,039	416,139,039	5,785,043	13,613	421,937,695

(歳出)

(単位：千円)

区 分	当初予算	9月末現在 予算現額	第1号補正 (10月)	第2号補正 (2月)	3月末現在 予算現額
総務費	894,731	894,731			894,731
保険給付費	414,574,515	414,574,515			414,574,515
特別高額医療費 共同事業拠出金	106,826	106,826			106,826
保健事業費	477,428	477,428		9,412	486,840
基金積立金	697	697		345	1,042
公債費	3,247	3,247			3,247
諸支出金	56,595	56,595	5,785,043	3,856	5,845,494
予備費	25,000	25,000			25,000
合 計	416,139,039	416,139,039	5,785,043	13,613	421,937,695

2 令和元年度下半期の歳入歳出予算の執行状況

令和2年3月31日現在の予算執行状況については次のとおりです。

●一般会計の予算執行状況

(歳入)

(単位：千円)

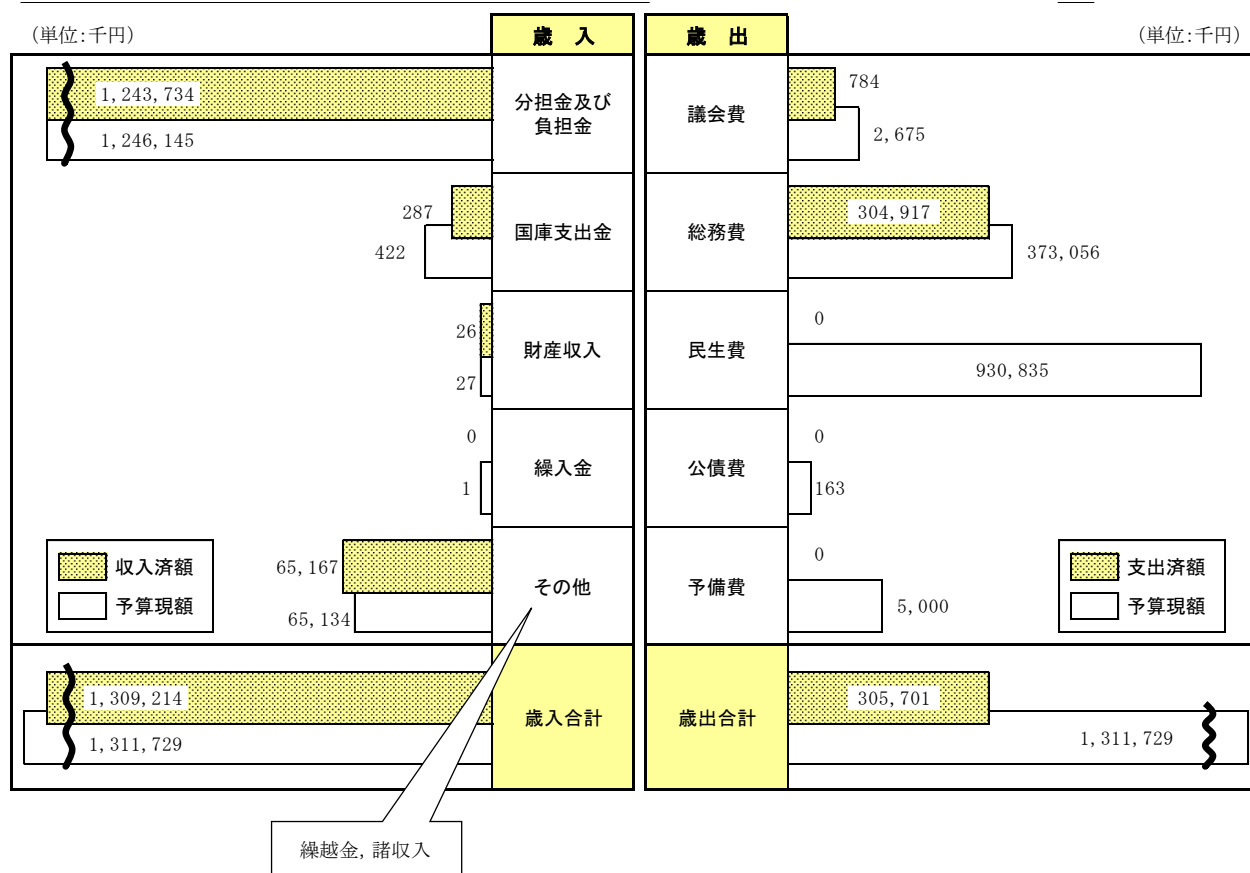
区 分	予算現額 (A)	収入済額 (B)	収入率 (B/A)
分担金及び負担金	1,246,145	1,243,734	99.8%
国庫支出金	422	287	68.0%
財産収入	27	26	96.3%
繰入金	1	0	0.0%
繰越金	65,099	65,099	100.0%
諸収入	35	68	194.3%
合 計	1,311,729	1,309,214	99.8%

(歳出)

(単位：千円)

区 分	予算現額 (A)	支出済額 (B)	支出率 (B/A)
議会費	2,675	784	29.3%
総務費	373,056	304,917	81.7%
民生費	930,835	0	0.0%
公債費	163	0	0.0%
予備費	5,000	0	0.0%
合 計	1,311,729	305,701	23.3%

グラフ「令和元年度一般会計予算の執行状況（令和2年3月31日現在）」



(注)上のグラフには、視覚的にわかりやすくしているため、数値と棒グラフの長さの比が合致しない箇所があります。

●後期高齢者医療特別会計の予算執行状況

(歳入)

(単位：千円)

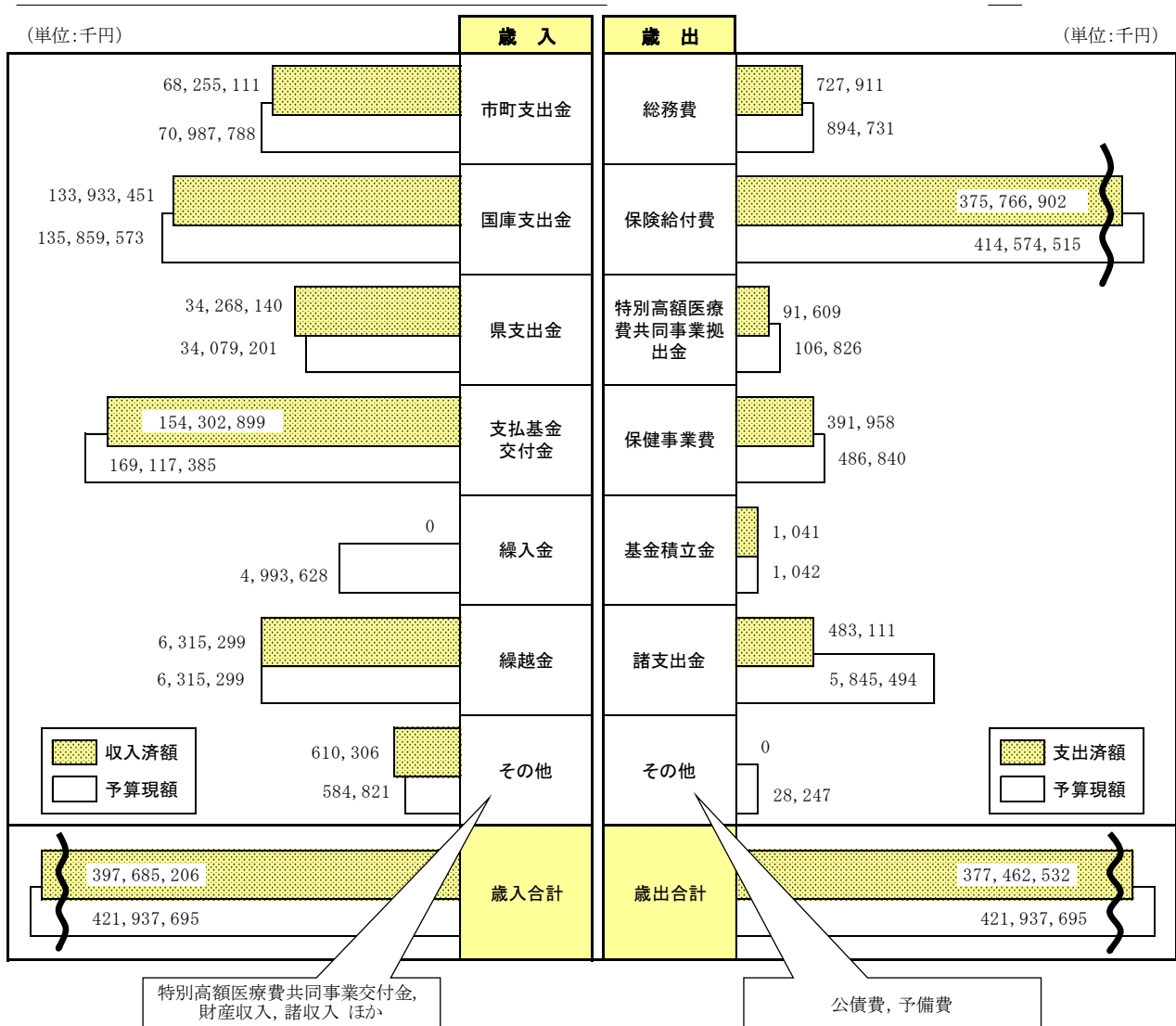
区 分	予算現額 (A)	収入済額 (B)	収入率 (B/A)
市町支出金	70,987,788	68,255,111	96.2%
国庫支出金	135,859,573	133,933,451	98.6%
県支出金	34,079,201	34,268,140	100.6%
支払基金交付金	169,117,385	154,302,899	91.2%
特別高額医療費 共同事業交付金	73,570	80,505	109.4%
財産収入	1,042	1,041	99.9%
繰入金	4,993,628	0	0.0%
繰越金	6,315,299	6,315,299	100.0%
県財政安定化 基金借入金	1	0	0.0%
諸収入	510,208	528,760	103.6%
合 計	421,937,695	397,685,206	94.3%

(歳出)

(単位：千円)

区 分	予算現額 (A)	支出済額 (B)	支出率 (B/A)
総務費	894,731	727,911	81.4%
保険給付費	414,574,515	375,766,902	90.6%
特別高額医療費 共同事業拠出金	106,826	91,609	85.8%
保健事業費	486,840	391,958	80.5%
基金積立金	1,042	1,041	99.9%
公債費	3,247	0	0.0%
諸支出金	5,845,494	483,111	8.3%
予備費	25,000	0	0.0%
合 計	421,937,695	377,462,532	89.5%

グラフ「令和元年度後期高齢者医療特別会計予算の執行状況（令和2年3月31日現在）」



(注)上のグラフには、視覚的にわかりやすくしているため、数値と棒グラフの長さの比が合致しない箇所があります。

3 広域連合が所有する財産の現在高

広域連合では、その行政目的を達成するため、財産を管理・運用しています。

財産は、管理状況を明確にし、常にその目的に応じて最も効率的に運用するように努めています。

令和2年3月31日現在において、広域連合が所有する財産は、次のとおりです。

【物 品】

区 分	数 量	摘 要
物 品	1	新財務会計システム1式

(取得価格1件100万円以上の物品)

【基 金】

名 称	金 額 (円)	摘 要
財政調整基金	306,384,150	決算剰余金等を積み立て、不測の支出に備えるための基金
後期高齢者医療給付準備基金	10,698,526,286	徴収した保険料のうち、その年度に余ったものを積み立て、次年度以降の給付に充てるための基金

4 一時借入金及び地方債の借入状況

(1) 一時借入金

一時借入金とは、一時的な現金の不足を補うための短期借入金です。

令和元年10月1日から令和2年3月31日までの間の借入れはありませんでした。

(2) 地方債（広域連合債）

地方債とは、その償還が借入年度以降複数年にわたる長期の借入金で、多額の事業費の財源を確保し、費用負担の世代間格差を是正するためのものです。

令和2年3月31日現在において、借入れはありません。

5 住民負担の状況

被保険者に納めていただいた保険料は、医療給付等に要する費用に充てられる「保険料等負担金」として、各市町から広域連合に納付されています。

この他、各市町からは、広域連合の運営に要する費用等に充てられる「事務費負担金」、及び医療給付に要する費用に一定の割合で充てられる「療養給付費負担金」が広域連合に納付されています。

令和元年10月1日から令和2年3月31日における各市町の納付額は、次のとおりです。

(単位：千円)

区分	保険料等負担金	事務費負担金	療養給付費負担金	合計
広島市	9,113,080	213,989	5,593,665	14,920,734
呉市	2,298,287	53,695	1,663,625	4,015,607
竹原市	250,833	9,119	222,581	482,533
三原市	769,712	23,772	649,153	1,442,637
尾道市	1,220,179	34,191	930,871	2,185,241
福山市	3,657,973	92,459	2,432,225	6,182,657
府中市	380,954	12,049	276,689	669,692
三次市	396,079	7,553	302,717	706,349
庄原市	330,211	12,533	303,912	646,656
大竹市	255,362	8,786	200,900	465,048
東広島市	1,186,112	35,006	890,072	2,111,190
廿日市市	964,853	26,373	658,200	1,649,426
安芸高田市	252,028	9,902	198,852	460,782
江田島市	245,907	8,937	203,266	458,110
府中町	403,880	11,910	226,117	641,907
海田町	211,578	7,845	132,835	352,258
熊野町	227,686	7,937	179,518	415,141
坂町	94,826	2,675	76,170	173,671
安芸太田町	76,812	4,691	60,917	142,420
北広島町	149,995	7,246	145,967	303,208
大崎上島町	83,939	4,958	67,115	156,012
世羅町	144,529	6,989	124,057	275,575
神石高原町	89,741	5,489	72,609	167,839
合計	22,804,556	608,104	15,612,033	39,024,693

令和2年度広域連合の当初予算

一般会計は、派遣職員の増員等により、前年度比で4,062万4千円の増額としました。
特別会計は、被保険者数の増加を見込み、前年度比で59億3,350万2千円の増額としました。

1 一般会計

(歳入)

(単位：千円)

区 分	本年度 当初予算額	前年度 当初予算額	比 較
分担金及び負担金	1,286,749	1,246,145	40,604
国庫支出金	2	2	0
財産収入	32	21	11
繰入金	1	1	0
繰越金	1	1	0
諸収入	44	35	9
合 計	1,286,829	1,246,205	40,624

(歳出)

(単位：千円)

区 分	本年度 当初予算額	前年度 当初予算額	比 較
議会費	2,721	2,675	46
総務費	347,612	307,532	40,080
民生費	931,333	930,835	498
公債費	163	163	0
予備費	5,000	5,000	0
合 計	1,286,829	1,246,205	40,624

2 後期高齢者医療特別会計

(歳入)

(単位：千円)

区 分	本年度 当初予算額	前年度 当初予算額	比 較
市町支出金	72,600,185	70,226,883	2,373,302
国庫支出金	138,309,749	135,853,092	2,456,657
県支出金	34,739,504	34,079,201	660,303
支払基金交付金	172,368,383	171,051,584	1,316,799
特別高額医療費 共同事業交付金	86,942	73,570	13,372
財産収入	664	697	△33
繰入金	3,506,229	4,380,892	△874,663
繰越金	1	1	0
県財政安定化 基金借入金	1	1	0
諸収入	460,883	473,118	△12,235
合 計	422,072,541	416,139,039	5,933,502

(歳出)

(単位：千円)

区 分	本年度 当初予算額	前年度 当初予算額	比 較
総務費	903,908	894,731	9,177
保険給付費	420,299,658	414,574,515	5,725,143
特別高額医療費 共同事業拠出金	112,530	106,826	5,704
保健事業費	669,946	477,428	192,518
基金積立金	664	697	△33
公債費	3,247	3,247	0
諸支出金	57,588	56,595	993
予備費	25,000	25,000	0
合 計	422,072,541	416,139,039	5,933,502

【市町からの事務費分担金の令和2年度分担額】

広域連合の事務費は、そのほとんどが市町の手分担金によって賄われています。

令和元年度の各市町の手分担金額は、広域連合規約で定められた割合（均等割10％、高齢者人口割50％、総人口割40％）により算出しています。

※分担金の計算に用いる基礎数値

(単位：千円)

(単位：人)

区分	分担金額	合計に 占める割合
広島市	446,580	35.0%
呉市	110,219	8.6%
竹原市	18,654	1.5%
三原市	48,484	3.8%
尾道市	70,060	5.5%
福山市	191,750	15.0%
府中市	24,655	1.9%
三次市	30,666	2.4%
庄原市	25,224	2.0%
大竹市	18,075	1.4%
東広島市	73,137	5.7%
廿日市市	52,371	4.1%
安芸高田市	20,138	1.6%
江田島市	18,226	1.4%
府中町	24,766	1.9%
海田町	16,282	1.3%
熊野町	16,549	1.3%
坂町	11,032	0.9%
安芸太田町	9,537	0.7%
北広島町	15,024	1.2%
大崎上島町	10,108	0.8%
世羅町	14,168	1.1%
神石高原町	11,058	0.9%
合計	1,276,763	100.0%

高齢者人口	総人口
147,619	1,195,960
42,314	222,366
5,612	25,174
17,115	93,250
26,164	136,333
66,601	468,812
7,902	39,078
10,309	52,043
8,759	34,994
5,037	26,823
22,019	188,372
16,840	117,098
6,186	28,545
5,592	22,972
6,422	52,191
3,472	30,107
4,377	23,944
2,061	12,945
1,885	6,157
4,011	18,592
2,101	7,491
3,746	16,086
2,553	8,936
418,697	2,828,269

(注)

- ・端数処理の都合で割合の合計が100.0%にならない場合があります。
- ・「高齢者人口」：令和元年9月30日現在の75歳以上の住民基本台帳
- ・「総人口」：令和元年9月30日現在の住民基本台帳

主要な予算科目の内容

1 一般会計

(歳 入)

区 分	説 明
分担金及び負担金	広域連合を構成する23市町が負担する共通事務経費等
国庫支出金	運営審議会設置等に係る国の負担
財産収入	財政調整基金の運用利子
繰入金	財政調整基金からの繰入金
繰越金	前年度からの繰越
諸収入	預金利子, その他の収入

(歳 出)

区 分	説 明
議会費	広域連合議会の運営に関する経費
総務費	広域連合長等の報酬, 各市町から派遣されている職員の人件費負担金等, 広域連合の運営に関する経費
民生費	後期高齢者医療特別会計の事務費に充てるための繰出金
公債費	一時的な現金不足に対処するため, 金融機関等から借り入れる資金に対する支払利息
予備費	不測の支出に備えるための経費

2 後期高齢者医療特別会計

(歳 入)

区 分	説 明
市町支出金	被保険者から徴収した保険料や、被保険者が受けた医療給付の 1/12 相当の市町の公費負担
国庫支出金	被保険者が受けた医療給付の 3/12 相当の公費負担など
県支出金	被保険者が受けた医療給付の 1/12 相当の公費負担など
支払基金交付金	現役世代からの後期高齢者支援金
特別高額医療費 共同事業交付金	著しく高額な医療給付の財政への影響を緩和するため国保中央会から交付
財産収入	給付準備基金の運用利子
繰入金	一般会計からの事務費等及び基金からの給付費の財源の繰入金
繰越金	前年度からの繰越
県財政安定化基金 借入金	後期高齢者医療の財政安定化を目的に県が設置する基金からの借入金
諸収入	交通事故などの第三者行為に伴う納付金、その他の収入

(歳 出)

区 分	説 明
総務費	印刷製本費、郵送料、電算システムの維持管理及びレセプト点検の委託料など後期高齢者医療制度の運営に関する事務経費
保険給付費	被保険者が受けた医療等に関する給付等の経費
特別高額医療費 共同事業拠出金	全国の各広域連合が著しく高額な医療給付による財政への影響を緩和するための拠出
保健事業費	被保険者の健康診査等に関する経費
基金積立金	保険料の余剰が生じた場合の給付準備基金等への積み立て
公債費	一時的な現金不足に対処するため、金融機関等から借り入れる資金に対する支払利息
諸支出金	過誤納付された保険料の還付金等
予備費	不測の支出に備えるための経費